

運用報告書 (全体版)

第19期<決算日2022年5月25日>

世界高配当株セレクト (目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジなしコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信 / 内外 / 株式	
信託期間	2012年12月17日から2022年11月25日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するフロッギー高配当世界株指数 (以下「高配当株戦略指数」といいます。) から得られる総合収益の獲得、および年2回の分配実施 (実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。) による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。	
主要投資対象	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジなしコース	投資信託証券
	シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (アンヘッジド) - Bクラス	スワップ取引
	国内マネー・マザーファンド	本邦通貨建ての公社債
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、高配当株戦略指数 (円ベース) に実質的に投資を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (アンヘッジド) - Bクラス (以下「エクイティファンド (ヘッジなし) B」といいます。) 円建受益証券 内国証券投資信託 (親投資信託) 国内マネー・マザーファンド受益証券 なお、エクイティファンド (ヘッジなし) Bにおける高配当株戦略指数 (円ベース) への実質的な投資は、ドイツ銀行ロンドン支店を取引相手とする担保付スワップ取引により行います。	
組入制限	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジなしコース	投資信託証券および短期金融商品 (短期運用の有価証券を含みます。) 以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	国内マネー・マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、原則として、当ファンドの決算日の直前におけるエクイティファンド (ヘッジなし) Bの分配額に基づく額を払い出すことを目標に委託者が決定します。エクイティファンド (ヘッジなし) Bの分配金は投資収益に基づくものではなく、原則として、1年毎に到来する特定日の純資産価格に所定の分配率を乗じて得た額としてその1口当たりの分配金が決定されます。結果として、当ファンドの分配金は実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額が充当されることがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界高配当株セレクト (目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジなしコース」は、2022年5月25日に第19期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

世界高配当株セレクト（目標払出し型）年2回決算・為替ヘッジなしコース

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			高配当株戦略指数		投 資 信 託 債 券 組 入 率	債 券 組 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(円ベース) (参考指数)	期 騰 落 率			
15期 (2020年5月25日)	円 12,679	円 319	% △17.5	5,440.47	% △17.3	% 96.9	% 0.1	百万円 1,309
16期 (2020年11月25日)	13,233	319	6.9	5,929.47	9.0	97.3	0.1	1,226
17期 (2021年5月25日)	16,102	269	23.7	7,398.45	24.8	97.8	—	1,291
18期 (2021年11月25日)	15,928	269	0.6	7,545.60	2.0	98.3	—	1,392
19期 (2022年5月25日)	18,145	304	15.8	8,861.71	17.4	98.0	0.2	1,846

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 高配当株戦略指数はクロッキー高配当世界株指数です（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		高配当株戦略指数		投 資 信 託 債 券 組 入 率	債 券 組 入 率
		騰 落 率	(円ベース) (参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2021年11月25日	円 15,928	% —	7,545.60	% —	% 98.3	% —
11 月 末	15,502	△2.7	7,316.39	△3.0	98.3	—
12 月 末	16,249	2.0	7,803.63	3.4	98.6	0.0
2022年1月 末	16,740	5.1	7,952.23	5.4	97.4	0.0
2 月 末	16,250	2.0	7,717.12	2.3	94.8	0.0
3 月 末	18,447	15.8	8,829.46	17.0	98.3	0.0
4 月 末	18,311	15.0	8,781.76	16.4	98.6	0.2
(期 末) 2022年5月25日	18,449	15.8	8,861.71	17.4	98.0	0.2

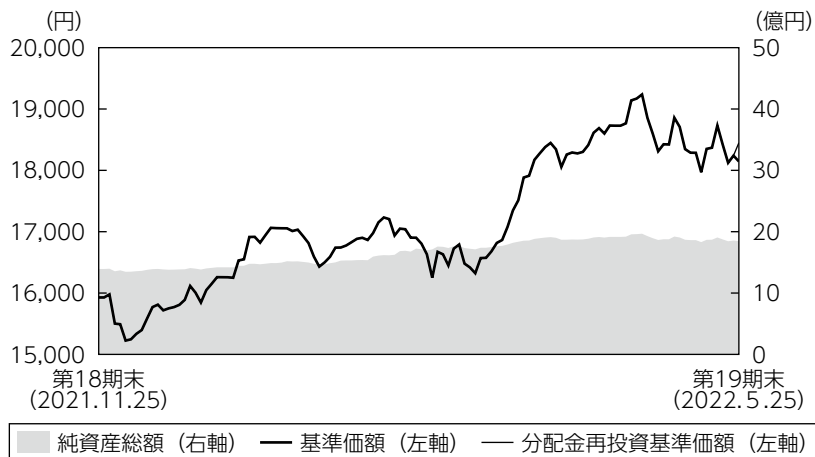
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■当期の運用経過（2021年11月26日から2022年5月25日まで）

基準価額等の推移



第19期首： 15,928円
第19期末： 18,145円
（既払分配金304円）
騰落率： 15.8%
（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。主として組み入れているケイマン諸島籍の外国投資信託「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Bクラス」（以下「エクイティファンド（ヘッジなし）B」といいます）の価格上昇が基準価額のプラス要因となりました。

投資環境

世界主要国の株式市場は、2021年末にかけて、インフレが加速する中、好調な企業業績を背景に堅調に推移しました。年明け後、インフレ率の上昇加速に伴う米長期金利上昇や、ロシアがウクライナ侵攻を開始し、米欧などが制裁に踏み切る中、3月上旬にかけて下落傾向となりました。その後、ロシアとウクライナの停戦協議の進展期待から反発する場面があったものの、中国景気への懸念などから下落しました。この間、高配当株等の割安株は成長株に対して堅調に推移しました。

為替市場では円は対米ドル、対ユーロで下落しました。米経済の回復期待や、米インフレ圧力の高まりを示す指標を受けて、金融政策正常化の観測が強まったことから円安・米ドル高が進展しました。ユーロは、米欧の景況感の格差や、ウクライナ情勢の緊迫化によるエネルギー価格の急騰が欧州景気の重石となる可能性が意識されたことから米ドルに対して軟調に推移し、円に対しては上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当期を通じて「エクイティファンド（ヘッジなし） B」を高位に組み入れるとともに、国内投資信託「国内マネー・マザーファンド」へも投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行いました。

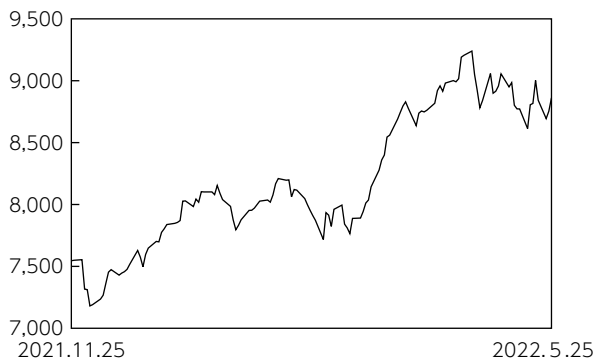
●エクイティファンド（ヘッジなし） B

主として、ドイツ銀行ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引の投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当株指数のひとつである「高配当株戦略指数（円ベース）」に実質的に投資を行い、指数への投資で得られる総合収益の獲得を目指しました。

●国内マネー・マザーファンド

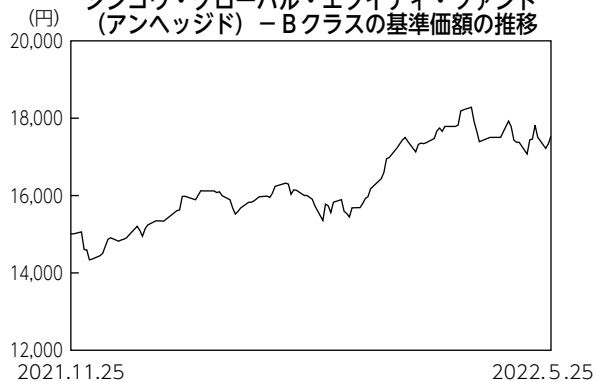
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

高配当株戦略指数（円ベース）の推移



※高配当株戦略指数は、クロッキー高配当世界株指数です。

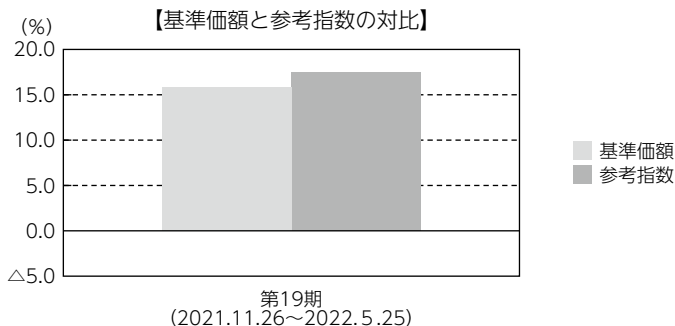
シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド
（アンヘッジド） - Bクラスの基準価額の推移



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
 グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金は、年1回の目標額決定時の基準価額に対して所定の率を乗じて得た額を上限として支払います。第19期は1万口当たり304円を分配しました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年11月26日 ～2022年5月25日
当期分配金（税引前）	304円
対基準価額比率	1.65%
当期の収益	304円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	8,197円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き「エクイティファンド（ヘッジなし）B」を高位に維持し、収益の獲得を目指します。

●エクイティファンド（ヘッジなし）B

引き続き担保付スワップ取引への投資を通じて、「高配当株戦略指数（円ベース）」から得られる総合収益の獲得を目指します。

●国内マネー・マザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第19期		項目の概要
	(2021年11月26日 ～2022年5月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	111円	0.644%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は17,175円です。
(投信会社)	(33)	(0.191)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(75)	(0.436)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	111	0.645	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

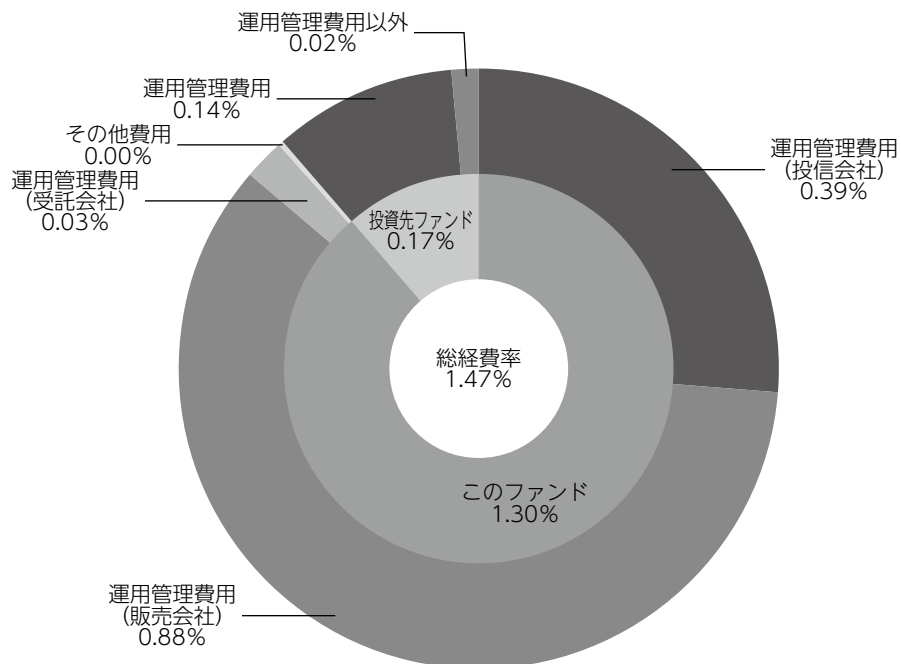
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.47%です。



総経費率 (①+②+③)	1.47%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.14%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■**売買及び取引の状況**（2021年11月26日から2022年5月25日まで）
投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（アンヘッジド）－Bクラス	千口 179,172.026	千円 286,000	千口 33,841.396	千円 57,000

（注）金額は受渡代金です。

■**親投資信託受益証券の設定、解約状況**（2021年11月26日から2022年5月25日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内マネー・マザーファンド	千口 4,955	千円 5,000	千口 －	千円 －

■**利害関係人との取引状況等**（2021年11月26日から2022年5月25日まで）

【世界高配当株セレクト（目標払出し型）年2回決算・為替ヘッジなしコースにおける利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引等はありません。

【国内マネー・マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 225	百万円 60	% 26.7	百万円 －	百万円 －	% －

平均保有割合 0.5%

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ン ド 名	期首(前期末)	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（アンヘッジド）－Bクラス	911,948.804	1,057,279.434	1,809,110	98.0
合 計	911,948.804	1,057,279.434	1,809,110	98.0

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	期首(前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
国内マネー・マザーファンド	990	5,946	5,999

■投資信託財産の構成

2022年5月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,809,110	95.8
国内マネー・マザーファンド	5,999	0.3
コール・ローン等、その他	72,930	3.9
投資信託財産総額	1,888,040	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月25日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,888,040,613円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	72,930,566
投 資 信 託 受 益 証 券(評 価 額)	1,809,110,839
国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド(評 価 額)	5,999,208
(B) 負 債	41,649,050
未 払 収 益 分 配 金	30,934,629
未 払 信 託 報 酬	10,682,277
そ の 他 未 払 費 用	32,144
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,846,391,563
元 本	1,017,586,513
次 期 繰 越 損 益 金	828,805,050
(D) 受 益 権 総 口 数	1,017,586,513口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	18,145円

(注) 期首における元本額は874,119,785円、当期中における追加設定元本額は201,779,223円、同解約元本額は58,312,495円です。

■損益の状況

当期 自 2021年11月26日 至 2022年5月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	45,460,326円
受 取 配 当 金	45,463,016
受 取 利 息	91
支 払 利 息	△2,781
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	204,721,659
売 買 益	211,515,975
売 買 損	△6,794,316
(C) 信 託 報 酬 等	△10,714,421
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	239,467,564
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	84,680,456
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	535,591,659
(配 当 等 相 当 額)	(540,974,916)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△5,383,257)
(G) 合 計(D+E+F)	859,739,679
(H) 収 益 分 配 金	△30,934,629
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	828,805,050
追 加 信 託 差 損 益 金	535,591,659
(配 当 等 相 当 額)	(540,974,917)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△5,383,258)
分 配 準 備 積 立 金	293,213,391

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	43,513,932円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	113,187,364
(c) 収 益 調 整 金	540,974,917
(d) 分 配 準 備 積 立 金	167,446,724
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	865,122,937
(f) 1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	8,501.71
(g) 分 配 金	30,934,629
(h) 1 万 口 当 た り 分 配 金	304

■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金

304円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

■当ファンドが投資対象とする外国投資信託において、担保付スワップ取引に係る担保保管会社を以下のとおり変更しました。

変更前：ザ バンク オブ ニューヨーク メロン

変更後：米国みずほ銀行

上記の変更は、昨今の国際的な証拠金規制が強化される中、当ファンドにおける取引においても担保管理体制を国際的に標準的な枠組みに合わせるものです。

(2022年2月26日)

シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (アンヘッジド) – Aクラス／Bクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運用方針	主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー高配当世界株指数（円建て、円ヘッジなし）」のリターン（コスト控除後）を享受することを目指します。スワップ取引の相手方はドイツ銀行ロンドン支店となります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、上述のスワップ取引を行う以外にはリスク資産への投資は行いません。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。
決算日	12月末
関係法人	投資顧問会社：アセットマネジメントOne株式会社 受託会社：ファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド 管理事務代行業社兼保管受託銀行：ミズホ・バンク（USA）
信託報酬等	純資産総額に対し年率0.145% 上記料率には、投資顧問会社、受託会社、管理事務代行業社ならびに保管受託銀行への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。なお、最低支払額として、受託会社に対し年15,000米ドル、管理事務代行業社に対し年45,000米ドルが設定されています。
その他の費用・手数料	監査報酬、弁護士費用および当初設定にかかる諸費用などが支払われます。これらは定率でないため事前に概算料率や上限額などを表示することができません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Aクラス」、「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Bクラス」は、「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」を構成する個別クラスとなっております。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」の状況

(1) 財政状態計算書

2021年12月31日現在

(日本円表示)

資産		
損益を通じて公正価値で測定する金融資産 (取得原価：12,349,280,638円)		18,153,558,713
現金		374,596,484
資産合計		18,528,155,197
負債		
未払管理事務代行報酬及び未払保管受託報酬		3,790,707
未払管理報酬		2,290,300
未払専門家報酬		4,351,477
未払受託者報酬		458,054
その他の負債		78,108
負債合計（受益者に帰属する純資産を除く）		10,968,646
受益者に帰属する純資産		18,517,186,551
1口当たりの純資産価額		
クラスAファンド証券 (発行済ファンド証券口数 35,434,452,323口)		0.4824
クラスBファンド証券 (発行済ファンド証券口数 911,948,804口)		1.5629

(2) 包括利益計算書

2021年12月31日に終了した会計年度

(日本円表示)

投資収益／（損失）	
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる実現純利益	1,471,366,387
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる未実現利益／（損失）の変動純額	3,063,509,924
その他収益	430,410
	4,535,306,721
費用	
管理事務代行報酬及び保管受託報酬	16,645,136
管理報酬	9,537,375
受託者報酬	2,051,599
専門家報酬	3,898,105
その他報酬	326,182
	32,458,397
純投資利益／（損失）	4,502,848,324
財務費用	
受益者への分配金	(2,905,976,869)
運用より生じた受益者に帰属する純資産の増加／（減少）額	1,596,871,455

(3) 損益を通じて公正価値で測定する金融資産

2021年12月31日現在

(単位：日本円)

	取得原価	公正価値
トータル・リターン・スワップ契約	12,349,280,638	18,153,558,713
	12,349,280,638	18,153,558,713

国内マネー・マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2022年1月17日）

（計算期間 2021年1月16日～2022年1月17日）

国内マネー・マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰	落			
12期(2020年1月15日)	円 10,093	% △0.0		% 96.4	% -	百万円 312
13期(2021年1月15日)	10,093	0.0		81.3	-	312
14期(2022年1月17日)	10,091	△0.0		11.7	-	385

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

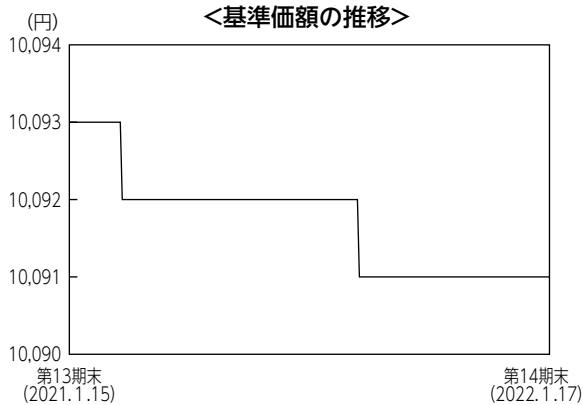
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2021年 1 月15日	円 10,093	% -	% -	% 81.3	% -
1 月 末	10,093	0.0		61.0	-
2 月 末	10,092	△0.0		60.9	-
3 月 末	10,092	△0.0		-	-
4 月 末	10,092	△0.0		-	-
5 月 末	10,092	△0.0		-	-
6 月 末	10,092	△0.0		-	-
7 月 末	10,092	△0.0		-	-
8 月 末	10,091	△0.0		-	-
9 月 末	10,091	△0.0		-	-
10 月 末	10,091	△0.0		-	-
11 月 末	10,091	△0.0		-	-
12 月 末	10,091	△0.0		11.7	-
(期 末) 2022年 1 月17日	10,091	△0.0		11.7	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2021年1月16日から2022年1月17日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,091円となり、前期末の同10,093円から0.02%下落しました。

基準価額の主な変動要因

基準価額の変動要因として、保有債券からの利息収入などのプラス要因はありましたが、マイナス金利による影響が大きく、前期末比で基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い国債や地方債などで運用を行いました。

今後の運用方針

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も安定的な運用を目指し、公社債などへの投資につとめます。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2021年1月16日から2022年1月17日まで)

公社債

		買付額	売付額	
国	内	千円	千円	
		国債証券	45,055	(-)
		地方債証券	-	(253,300)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年1月16日から2022年1月17日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区分	当期				期末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 45,000	千円 45,042	% 11.7	% -	% -	% -	% 11.7
合計	45,000	45,042	11.7	-	-	-	11.7

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債銘柄別

銘柄	当期			期末	
	利率	額面金額	評価額	償還年月日	
(国債証券)	%	千円	千円		
409回 利付国庫債券(2年)	0.1000	10,000	10,001	2022/02/01	
413回 利付国庫債券(2年)	0.1000	15,000	15,012	2022/06/01	
416回 利付国庫債券(2年)	0.1000	20,000	20,028	2022/09/01	
合計	-	45,000	45,042	-	

■投資信託財産の構成

2022年1月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 45,042	% 11.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	340,483	88.3
投 資 信 託 財 産 総 額	385,526	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年1月17日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	385,526,304円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	340,469,850
国 債 証 券(評価額)	45,042,390
未 収 利 息	5,490
前 払 費 用	8,574
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	385,526,304
元 本	382,066,191
次 期 繰 越 損 益 金	3,460,113
(D) 受 益 権 総 口 数	382,066,191口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,091円

(注1) 期首元本額 309,355,418円
追加設定元本額 72,710,773円
一部解約元本額 -円

(注2) 期末における元本の内訳

世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース	4,951,966円
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	4,951,966円
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジなしコース	990,394円
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジありコース	990,394円
グローバル・アロケーション・オープン Aコース (年1回決算・為替ヘッジなし)	19,702,509円
グローバル・アロケーション・オープン Bコース (年4回決算・為替ヘッジなし)	267,875,131円
グローバル・アロケーション・オープン Cコース (年1回決算・限定為替ヘッジ)	4,947,950円
グローバル・アロケーション・オープン Dコース (年4回決算・限定為替ヘッジ)	4,945,108円
USストラテジック・インカム・アルファ 毎月決算型	5,939,952円
USストラテジック・インカム・アルファ 年1回決算型	2,375,387円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド (毎月決算型)	44,446,526円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド (年2回決算型)	19,753,462円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり (毎月決算型)	97,723円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり (年2回決算型)	97,723円
期末元本合計	382,066,191円

■損益の状況

当期 自2021年1月16日 至2022年1月17日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	424,034円
受 取 利 息	480,697
支 払 利 息	△56,663
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△492,508
売 買 損	△492,508
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△68,474
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	2,866,921
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	661,666
(F) 合 計(C+D+E)	3,460,113
次 期 繰 越 損 益 金(F)	3,460,113

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。